

**オムロン株式会社 2013 年度1Q 決算
投資家様向け説明会 質疑応答
(2013 年 7 月 30 日、東京)**

◆ 全社業績・経営・戦略関連

Q:1Q 業績、EMC と SSB は増収なのに減益になっているのはなぜか？

A:両セグメントとも、将来成長のための投資をしている。特に SSB は環境事業などの成長分野に投資をしている。

Q:上期・通期の見通しを変更していない中、2Q の考え方を教えてほしい。単純に引き算すると 2Q は 1Q より減ることになるが、セグメント別に増減状況を知りたい。

A:1Q 実績は上期の6割程度。引き算だと 2Q で4割となる計算になるが、事業別に見て 2Q の売上が 1Q 比で減少するセグメントはない。今後の見通しは為替前提を変更せずに変えていない。上期に上ぶれする可能性は十分にある。

Q:米州において売上は伸びているが、利益はマイナスなのはなぜか？

A:オイルガス事業の売上減少の影響。15 億円程度の売上が期ずれしている。また、AEC の中南米などで積極的に投資しているので、その影響が出ている。

◆ IAB 関連

Q:中国はシャドーバンキングなど問題になっているが、在庫の問題などは発生していないか？

A:大きな問題は起きていない。代理店の在庫管理は毎月行っており、コントロールできている。

Q:IAB 国内は 3Q から回復と見ているようだが、事業環境に変調はないか？

A:マクロでは、日本の回復はまだ不透明だが 3Q 以降の回復を期待している。中国は様々な危機が出てきているが、足元状況は悪くはない。

◆ HCB 関連

Q:ヘルスケアは営業利益率 10%の実績だった。今後利益率 15%ぐらいまで行けるのか？今後のポテンシャルを知りたい。

A:ヘルスケアの売上拡大は海外、特に中国、ロシア、南米などの新興国。強みは、血圧計の精度やグローバルに供給ができること。先進国もネットワークやビッグデータなどヘルスケア市場も変わってくるとしており、成長への投資とバランスをとっていく。

◆その他事業関連

Q:パワコンは国内中心だが、海外展開はどう考えているのか？

A:当面は国内が中心。海外は米国が健全な市場と見ており有望視している。

Q:バックライト事業は 2Q から 4Q でどう推移するか？お客様の変化、見通しの変化などあるか？

A:1Q では予想に反して既存の商品が好調だった。1Q、2Q は好調だが、3Q、4Q は 30%程度減ると見ている。年間では前年比横ばいぐらいを想定している。

Q:パワコンの強さは理解できたが、住宅中心のビジネスでどの程度伸びるのか？パワコンの次にコアになる商品はどのように見ているのか？

A:国内は今年と来年にかけ、2 倍程度に伸びると思うが、来年の後半からは少し落ちると見ている。住宅向けは着工数によるので安定しているとは見ているが、全体では若干なだらかになる想定。また、今後は、「蓄エネルギー」での伸びが期待できる。また、「エネルギーセンシング」についても成長を期待しており、5 年ぐらいのタームで見ている。
